


寺報

龍正寺

日なた 152号

謹賀新年
丑年
正月
日延



<令和 3年 1月>

宝龍会
護持会

一 任 職 一 言 一 御遺文開目鈔より

あけましておめでとうございます。

本年も寺報のなだ、ホームページを謹読下さいませ。皆様の心の癒しに存れぱいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

宗祖日蓮大聖人御遺文
『開目鈔』より

「夫一切衆生の尊敬すべき者三あり所謂主師親
これ也。又習学すべき者三あり所謂儒外内これ也。儒家
には三皇五帝三王此等を天尊と号す、諸臣の頭目萬民
の橋梁也、三皇已前は父を知らず、人皆禽獸に同ず、五
帝已後は父母をわきまへて孝を致す、所謂重華は頑^{かたくな}じ
しき父を敬み、沛公は帝となつて大公を拜す。武王は西
伯を木像に造り、丁蘭は母の形を彫^{きこめ}刻り、此等は孝の
手本也、此干は殷の世の亡ぶべきを見て強^いて帝を諫め
頭^{はね}を削る公胤と云し者は懿公の肝を取て我腹をま
き肝を入れて死ぬ此等は忠の手本也。」

(解説) 吾等人類の尊み敬うべきもの三つある、主君と師匠

と両親とがそれある。また習うべく学ぶべきものが三つある、
儒教と婆羅門教と仏教とがそれである。

儒教に於ては伏羲、神農、黃帝の三皇と、少昊^{シウコウ}、顓頊^{シュンキ}、帝^{テイ}、唐堯^{テイヤウ}、
虞舜^{ユシュン}の五帝と夏^カ、殷^{イン}、周^{シュウ}三代の王者であつたところの湯王、湯王、文王、

武王を天子至尊とあがめた、三皇・五帝・三王は実に群臣の頭目であ
り萬民の親である。三皇の代までの人々は自分の父というものを知らず、開心
を持たずにいたのだから禽獸も同様であつた。五帝の世から初めて父母という
ことをわきまへて、孝行をするようになった。かの重華^{チュウカ}は頑迷なる父を敬み、漢^{カン}

沛公は帝王となつた後までもなお父の太公の前にもぞまづいた。また周の
武王は父の西伯を木像に造つて戦場にともない。漢の孝子丁蘭は、母の
死後その形を木像にして生けるが如くに事へた。これらは孝行の手本で
ある。また比干という人は殷の世の亡ぶる事をうれうるのあまり、強んで紂
王を諫めて王のいかりにふれ、ために首をはねられた。また孤直演という人
は主君の懿^イ公^{コウ}が、敵に惨殺されたのを見て悲嘆の極、自分の腹をたち
わけて主君の肝をその中へ入れて死んだ。これらは忠の手本である。

佛釋迦様は自から法華經譬諭品に主師親を説けています。

・今此三界は皆是れ吾が有たり主徳。・其の中の衆生は悉く是れ吾が子なり親徳
亦も今此の處は諸の患難多し、唯我一人のみ能救護をなす師徳
合掌

「TRUST YOURSELF」

自分を信頼せよ。

自分の力を信頼する。自分の力は無限であることを信じる。そうしたことだ、あなたの目の前に無限の可能性が広がる。新しい現実が、次から次へと開かれる。あなたを成長させるために、すべての出来事が「一秒違わず、完璧なタイミング」で起きていることがわかる。

現実には、あなたの心が作る。

自分を信頼すれば、可能性に満ち溢れる現実を見せる。

自分を信頼しなければ、鏡のようにあなたを裏切る現実を見せる。

現実を変えるのは、あなた自身である。

そして、新しい世界は、ひとつの小さな行動でもいい。一歩を踏み出して欲しい。数年後に目標を實現し、自分の成功に打ち震えるほどの感動する時、あなたには思い出さるだろう。

この一歩がすべての始まりだったこと。

この手紙をもらったのは、15年位前でした。その当時
仕事が覚えれなくてよく怒られていました。

景々ながら助けてくれた方から丁頁いたし手紙です。

その方は、自分も苦しい時 友人から本をもらい、"自分
を信頼せよ"の文章を励みになり仕事を頑張ったそうです。

12月に入ってから、この手紙を読みかえす事が多
くなりました。ふと、ある方の言葉を思い出しました。

「階段を「あがって（人としての質があがって）振り返った時、
あの時が「あって良かった」と思える日が必ず来るよ」...

そう、すべては自分から走っている事であり、この現実
を変えるのは自分しかいない。自分を信頼し、苦しい

事実と向き合い、1つ1つ乗り越える事をしないと、鏡の
ように険しい現実をつきつけられます。そのような

思いが出てきて、今ある仕事の壁を越えるため
自分を信頼し、日々、課題を克服している所です。

あの時が「あって良かった」と思える日の為に

南無妙法蓮華經

—— 仏様のお導き ——

明けましておめでとうございます。

本年も「日なたに」をよろしくお願ひ致します。

コロナ禍は続いています。皆様体調に気を付けて一人一人が感染予防を心がけてください。

本年、我が家の長女は成人式を迎えます。つい先日、成人式の中止(延期)が決定しました。久しぶりに会える友達とも会えなくなり可哀想ですが、感染の心配をしながら開催されるより、安心して参加できる方が良からと納得しています。

そして、就職のため大阪に引っ越すことも決まり、変化の多い年となりそうです。

数ヶ月前からネットで物件を探し、内覧も数件させて頂いていました。最終的に「ここがいい!!」と思っていた物件の内覧に向かう前日、もう一軒、空きが出たと薦められた物件がありました。

どちらかに決まるかな...と思いつながら向かいまして、最後に空きの出た部屋は狭いながら

も日当たりりが良く、備え付けの家電も新品。
家賃も安く、治安も良くとてもいい物件でした。
年が明けると、いい物件はどんどんなくなつて
いくと聞いていたので、1~2ヶ月は住まなくても
家賃を払わなければいけないだろうと思つていまし
たが、オーナーさんより、3月からの入居でいいですよと
私達の希望を聞いて下さるお返事を頂き、とても
有難かったです。

帰り道、家族でその日の出来事を振り返り、
直前に手えて頂いた物件が「スムーズ」に決まり、
仏様が「ここにするといいよ」と教えて下さったん
だろうと感謝しました。

20年も一緒に過ごしてきた娘が家を離れるの
はとても寂しいですが、娘の盛々の成長を喜び
に、陰ながら応援していきたいと思つています。

これからも娘をお導き下さい……

南無妙法蓮華經

コロナ禍の中で

令和二年は世界中がコロナウイルスとの戦いの日々でした。それはまた、この令和三年も続いています。

例年のような気持ちで新年を迎える事の出来ない、緊張感を持つスタートです。

日蓮宗新聞(2420号)に「病」に身と心の二種あり、法華經の功德で心の平安必要。日蓮聖人のご遺文「中務左衛門尉殿御返事」に病についての所信をはっきり表明されている。

「病」には身の病と心の病がある…と書かれていました。

身の病いは医学の力によって治す事ができるが、心の病は仏の教えによらなくては治す事はできない。」とありました。

令和になってから、あおり運転や自己中心的な様々な事件がありました。全て心の病いが要因だったのではないだろうか。

そして今、コロナ禍で人々の心の病いはますます悪化しています。又、新聞に書かれている「コロナ禍による差別」では「人は完全無欠ではない。平常時はおおむね穏やかであるが、今回のような事件に遭遇すると正しい判断が出来ず逸脱した言動に走る、さらにそれが大衆行動になるとも恐いことになる。

「我れ深く汝等を敬う」法華經常不輕品に説かれている
絶対平等の意(こころ)を人権の基本理念として、日常の生活を
時々みつめ直し、何が正しいのか、その思いや行動を自身に問うて
みる事が肝要である…。」とありました。

法華経にはこのようなお教えがあります。

決して心が痛いにおかされてしまわないように御題目を唱え、
このコロナ禍を乗り越えて、令和三年が明るい、活気に満ち
あふれた年になる事を祈りましょう。

個々の力は小さくとも、心をひとつとして同じ思いでお題目
を唱える事で大きな力となり、新たな喜びあふれる年を迎えられる
のではないのでしょうか。

いつも「日蓮宗新聞」から 気づき・勇気・元気を頂いています。
皆さんも是非、購読してみませんか？ 学びの多い新聞ですよ。

今年も色々な出来事から 法華経のお教えを学び、心豊かな
生活の日々を寺報「日なた」を通じてお伝えできればと思います。

今年もよろしくお願ひ致します。

< 1月の行事予定 >

1月1日(金)	5:00~	元旦祝祷会
13日(水)	10:00~	{ 初宗祖日蓮大聖人報恩会 初大古久尊天祈願会
18日(月)	10:00~	
31日(日)	節分・星祭り	祈禱会 (時間はご案内で確認願います)

< 1月住職の予定 >

寺院にて法務

< 1月の予定 >

1月3日(日)	13:00~	祭壇片付け
6日(水)	13:00~	おもち下げ
7日(木)	各々の時間で	清掃準備
?		
12日(火)		
14日(木)		
?		
17日(日)		
19日(火)		
?		
29日(金)		
30日(土)	9:00~	飾り付け